

日本物理学会第 66 回年次大会  
領域 10 インフォーマルミーティング (メール審議)  
議事録

1. 日時 平成 23 年 3 月 18 日 (金) - 22 日 (火)
2. 場所 年次大会中止のため、メール審議
3. 出席者 領域運営委員 (森分博紀, 大和田謙二, 矢代 航, 大島永康, 山内 淳, 大野裕, 柳澤達也)、領域代表 (前田康二)、領域副代表 (伊藤満)
4. 審議事項  
なし  
(審議すべき事案があれば 3 月 19 日までに、全員にメール配信するかたちで、提案して頂きたい旨の依頼に対して、特に提案は無かった)。
5. 連絡事項
  - 5.1 任期 2011 年 10 月~2012 年 9 月の領域運営委員を各分野の IFM で決め、4 月 8 日までに、  
領域代表前田 maeda@exp.t.u-tokyo.ac.jp、maekoji@gmail.com と  
領域連絡係大野裕氏 yutakaohno@imr.tohoku.ac.jp  
宛にご報告いただきたい。  
なお、運営委員の選出について  
以前、運営委員に送付した「領域運営委員にお願いする仕事」「I. 選出」の「なお、定員の多い領域に関しては、半数程度は東京近郊の方になりように調整をお願いいたします。」の一文は削除となった。
  - 5.2 第 6 回若手奨励賞の締め切りは 7 月 29 日 (金)。領域 10 の受章枠は 2 名である。  
前回応募が無かったため領域 10 は受章者が出なかった。4 月~5 月に物理学会よりアナウンスされる予定であるが、各分野の領域運営委員から分科メンバーへ詳細が領域 HP にある旨通知し、申請を奨励して欲しい。資格は受賞年度の 3 月 31 日現在において 40 歳未満である。
  - 5.3 「Journal of the Physical Society of Japan」及び「Progress of Theoretical Physics」(Supplement を含む) に、原則として贈呈年度の前年 6 月から遡って 5 年以内に発表された原著論文が対象となる論文賞は、領域代表が 1 件の推薦枠を持っているので、11 月頃アナウンスがあったら、応募して欲しい。

5.4 中止となったシンポジウム、企画講演、招待講演、チュートリアル講演について

1) 一般講演とは異なり、2011年春の年次大会で講演したものとは扱わない。

2) 会誌4月号の会告中の「2011年秋季大会の企画募集」にしたがい、  
通常の講演と同様に申し込むことができる。

## 6. 報告事項

6.1 次回領域代表には誘電体の伊藤副代表（現）を、次期副代表はX線・粒子線分野の新井正敏（J-PARCセンター）氏を推薦し、理事会の承認を求める予定である。

6.2 代議員の領域代表推薦枠3名については、領域運営委員の推挙により以下の3氏を推薦した。

白井泰治（京大）

岩田 真（名古屋工大）

高橋敏男（東大物性研）